

令和 5 年度 宇都宮市立明保小学校 学校評価計画書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
心身ともに健康でたくましく，確かな学力と豊かな人間性を持ち，ともに支え合いながら変化する社会を主体的に生き抜く児童の育成。
- (2) 具体目標（目指す児童像）
- ・健康でたくましい子
 - ・進んで考え最後までやりぬく子
 - ・思いやりがあり誰とでも仲良くする子
 - ・ふるさとの人や自然を大切にする子
- 《合い言葉：元気・やる気・勇気・思いやり》

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元気いっぱい 学びしっかり やさしさいっぱい だれもが輝く明保小」を目指し，家庭・地域の信頼と協力のもと，誰もが夢や希望を胸に喜びとやりがいをもって生き生きと生活し，成長できる学校を創る。

- 児童が意欲的に取り組む教育活動を展開し，「知・徳・体」の調和の取れた力強く生き抜く力を養う。
- 教職員が，人権尊重を基盤に，チームの一員としてやりがいを持ち専門性を磨き，教育に邁進することにより，保護者や地域からの信頼を得る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) すべての児童が安心して明るく学校生活が送れるよう，環境を整え，目指す児童像実現に向けて児童の成長に資する取組の充実を図る。
- (2) 「がんばった」「嬉しい」「感動した」等の体験により，自己肯定感・自己有用感や豊かな心を育み将来への夢が描けるよう，教育活動の質を高め，認め励ます教育を推進する。
- (3) 学業指導を基盤に，学習意欲を高めつつ知識・技能を確実に身に付け，思考力・判断力・表現力等を育む教育活動を推進する。
- (4) 児童の人権を尊重し，教育的ニーズを踏まえた個に応じた指導により，児童・保護者との良好な人間関係を築き信頼される学校づくりを進める。
- (5) 教職員が倫理観と使命感を持ち，資質・能力向上を高めるよう研鑽を積むとともに，校務の重点化・焦点化を推進し，やりがいを持ち，児童と向き合う時間の充実を図る。
- (6) 支えてくれる方々に感謝し，郷土を愛する心を養えるよう，宮の原地域学校園，魅力ある学校づくり地域協議会等との連携により，ふれあい活動等の充実を図る。

【宮の原地域学校園教育ビジョン】

心豊かで輝く子供の育成 ～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める）～

【重点課題】

- ★基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。（自ら学ぶ児童・生徒の育成）【学力向上部会】
- ★思いやりを高め規範意識の向上を図る。【学校生活適応支援部会】
- ★継続した筋力向上をめざし，健康で安全な生活を営ませる。【健康・体力・食育促進部会】
- ★小中および地域の交流促進を目指し，情報共有化を図る。【交流連携促進部会】
- ★学校事務の効率化・平準化を図り，学校づくりを支援する。【地域学校園事務室部会】

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係所法令や学習指導要領，とちぎ教育ビジョン 2025，第 2 次宇都宮市学校教育推進計画後期計画・学校教育スタンダード等に則し，本校教育目標の実現に向けて編成する。
- (2) カリキュラム・マネジメントの視点に立ち，思考力・判断力・表現力等と問題解決能力を高めるために，各教科・各領域等の関連を図った教育活動を展開する。
- (3) 創立 150 年の歴史と伝統を踏まえ，学校・地域・児童の実態を適切に把握し，特色ある教育課程を編成する。
- (4) 学校教育活動全体を通じた組織的な PDCA サイクルの活性化により教育課程の実施状況を評価し，必要な人的・物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく。
- (5) 教育活動実施時数は，宇都宮市小中一貫カリキュラムを基準として編成し，1 年生は安全上 2 年生と同様に，予備時数は基礎的・基本的内容の徹底（国・算）を中心に計画的に運用する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営	- 児童一人一人のよさを伸ばす教育の実践と誠実な行動により、信頼される教職員集団であり続けるために努力する。 ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを効果的に活用するなど、質の高い授業を提供できるよう、校内研修並びにOJTによる指導力向上とチーム明保としての同僚性の強化を図る。 - 地域とともにある学校づくりを具現化するために、PTAや地域人材、大学・団体等の教育資源を積極的に活用した教育の充実により、特色ある学校づくりを推進する。 - 教職員が健康で働きがいを持ち、質の高い教育が持続できるように、働き方改革を推進し、業務の適正化・効率化を図る。
(2) 学習指導	「宇都宮モデル」の活用により、学習の目標を児童と共有し、課題にじっくり取り組み学び合う活動を保障して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、「考えるための道工具箱」（比較する・分類する・つなげる・多面的に見る・理由付ける等）の活用による思考力・判断力等を育成する。 - 令和2～4年度に実施してきた話し合い活動の充実を継続しながら、自分の考えを書く力を向上させる。 - ねらいを明確にした実験・観察・体験・調査・製作・実習等による実感を伴った学びを充実させる。 ○ 「明保小学習スタンダード」に基づいた基本的な学習態度の指導と互いに認め合う児童の育成により、学びに向かう集団を作る。 1人1台端末を学習のねらい達成のために効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った授業づくりを実施する。 - 個に応じた指導の充実を図る。（「カスタネット通信」の活用） - 朝の学習や家庭学習の充実により基礎・基本の定着を図る。 - 夢や目標を持ち自己実現に向け努力する態度を育てるために、キャリア教育を推進する。
(3) 児童生徒指導	- 多面的・多角的に考える道徳科の授業を核として、異年齢児童や高齢者等、様々な人との関わりふれあう体験活動や読書活動を推進して豊かな心を育む。 ○ 「明保小のよい子」の徹底により、規範意識を醸成し基本的な生活習慣を確立する。 今年度の重点「毎日めざそう5つ☆」 ☆あいさつ・返事 ☆名札 ☆くつ揃え ☆心が温かくなる言葉かけ ☆話の聞き方 ○ 自己有用感を育む場づくりと認め励ます指導の充実を図る。 ○ 一人一人が大切にされ、いじめゼロの実現と不登校を生まない温かい学級・学年風土を醸成する。（情報共有、教育相談、Q-U調査の活用、SCとの連携）
(4) 健康（保健安全・食育）・体力	○ 運動量の多い教科体育の充実と各種検定による体力と運動能力の向上を図る。 - 望ましい食習慣の形成と、日常の保健指導（体温計測、歯磨き、手洗い・うがい）の徹底により、健康を管理する能力を育成する。 - 自ら仕事を見つけ協力して働く清掃指導や学校に役立つ活動を通して、自己有用感と公共心を育成する。 - 安全教育・安全指導を推進し、自他の命を守る判断力と行動力を身に付けさせる。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～B4は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡大 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価						
1ー（1）確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合90%以上	①児童が発言したり、考えを友達と話し合ったり学び合ったりする活動を計画的に学習活動に取り入れる。 ②課題解決のために必要な情報を収集したり、選択したりする活動を丁寧に支援する。 ③ <u>単元全体を見通して、問題解決型の授業を積極的に取り入れ、児童が主体的に取り組めるようにする。</u>		【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者	
児 童										
教職員										
保護者										

1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 90%以上	①認め励ます指導を推進し、友達に優しく接することができるようにする。 ②道徳の時間を核として、教材文の人物の行動や心情から思いやりの心の大切さを感じたり考えたりする機会を意図的に設定する。 ③異学年交流や縦割り班活動、地域の方とのふれあい活動を実施し、思いやりの心を育む。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
	児 童										
教職員											
保護者											
地域住民											
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①学習や行事等で事前に目標を設定する場を設け、実践後に振り返りを行わせ、努力の過程を認め、具体的なよさを称賛していく。 ②目標に向かって取り組む姿勢を児童相互が認め合い、励まし合えるよう指導する。 ③学習の見通しをもたせ、粘り強く継続的に取り組ませることで、成果を実感できるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童											
教職員											
保護者											
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以上	①避難訓練や交通安全教室などを通して、安全教育を強化するとともに、「明保小のよい子」を活用して日常生活の中の危険について学年に応じて丁寧に指導する。 ②体育や特別活動において安全に気を付けた生活や健康に関する授業をととして、日常の健康管理に興味をもたせ、健康的な生活が送れるような実践的態度を育てる。 ③食や健康について関連のある題材や学級活動で、学校栄養士や養護教諭と一緒に授業を考え、専門的な見方や考え方に触れさせ、理解を深める。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①自己肯定感や自己有用感を高めるために、居がいのある学級経営に努めるとともに、学級活動の充実を図っていく。 ②縦割り班活動やクラブ、委員会活動をととして、友達のよさを認め合うとともに、協力して取組めた心地よさを味わえるよう指導する。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員					
児 童											
教職員											
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 90%以上	①英語を使つての学習活動をととし、伝え合う楽しさや喜びを十分味わわせ、コミュニケーション力が向上するようにする。 ②自分の思いや考えを伝え合う場面を授業の中で意図的に設定するとともに、教材・教具の工夫を行い、外国語活動・外国語科の充実を図る。 ③ALTと連携し、授業の充実を図りながら、様々なコミュニケーションの方法を取り入れていく。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員					
	児 童										
教職員											
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①「宇都宮学（3年以上）」において、宇都宮の良さについて学習 するだけでなく、宇都宮市に関連する資料やイベント等のお知らせを配付する際には、市の良さや特長を積極的に児童に伝える。 ②宇都宮学の内容を学年だより等で保護者に伝え、宇都宮の良さをともに理解できるように啓発していく。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童											
教職員											
保護者											

2ー(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以 上	①1人1台端末や図書資料等を積極 的・効果的に活用できるよう、各教科 等の学習過程の中で意図的、計画的に 指導していく。 ②教職員がI C T機器や図書資料を 授業の中で、使い分け効果的に使用す ることで、学習効果を高めていく。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童											
教職員											
保護者											
2ー(3) 持続可能 な社会の実 現に向けた 担い手を 育む教育 の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①生活科や理科において植物の大切 さを指導したり、社会科・総合的な学 習の時間などにおいて、水や電気を大 切にすることを指導したりする。また 、「持続可能な社会」について学習内 容と関連して扱い、関心を高める。 ②児童会活動(環境・掲示委員会など) の活動をとおり、児童の興味関心を 高め、実践しようとする意欲を高めて いく。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員					
児 童											
教職員											
3ー(1) インクル ーシブ教育 システムの 充実に向け た特別支援 教育の推進	A 10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 90%以上	①配慮を要する児童や個別の支援が 必要な児童等について、打合わせ時 や職員会議において共通理解を図り、 迅速で組織的な対応をする。 ②支援の方向を決める際は、ケース 会議を開き組織的対応をするとともに 、必要に応じてS Cや専門機関との 連携を図り、適切な支援ができるよう にする。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員							
教職員											
3ー(2) いじめ・不 登校対策の 充実	A 11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを を指導している。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以 上	①「いじめゼロ集会」等、いじめ防止 に向けての児童の主体的な取組を支 援する。また、学校だよりや学年だ より、ホームページなどを通して、学 校の取組を発信していく。 ② <u>いじめが許されない行為であるこ とを教師が繰り返し語るとともに、各 種アンケートやQ-Uの結果、教育相 談等を生かし、未然防止・早期発見・ 早期対応に努める。</u>	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											
	A 12 教職員は、不登校を生 まない学級経営を行って いる。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以 上	①児童の自己有用感や自己肯定感を 高められる場になるよう、日々の授業 や諸活動で児童が活躍する場面を実 現し、相互に認め励ますことができる よう学級経営を充実させる。 ②日々の観察をはじめ、教育相談週間 によるアンケート調査や相談結果、Q -U調査等を活用して、不登校の未然 防止に努めるとともに児童の変化に 対して迅速かつ組織的に対応する。 ③教職員は、一人一人を大切にしてい ることを児童や保護者に伝え、理解や 支援を依頼する。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童											
教職員											
保護者											
3ー(3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A 13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいいきとした雰 囲気である。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以 上	①教師が、相談しやすい雰囲気を日常 的に醸成し、児童一人一人の困り感に 寄り添い、問題解決の支援に取り組 む。 ② <u>学級経営の充実を図るとともに、学 級活動をとおり、望ましい集団づく りをし、明るく居がいのある雰囲気 を醸成する。</u>	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											
3ー(4) 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化											
4ー(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A 14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以 上	①「 <u>宇都宮モデル</u> 」の指導過程を活用 した授業改善を行うことで、分かる授 業を実現する。 ② <u>ねらいの明確化・板書・発問の工夫 、ノート指導の充実を図る。</u> ③1人1台端末を効果的に活用し、個 に応じたきめ細かな指導を行う。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童											
教職員											
保護者											

4－（２） チーム力の 向上	A 15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力作 て業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 85%以上	①学校の全教職員が同じ目標のもと に、情報を共有しながら、学校目標の 実現に向けて、教育活動の充実を図 る。 ②個々の役割を担うだけではなく、校 務分掌等の垣根を越えて、互いに協力 して取組めるよう、同僚性を発揮す る。 ③関係者が協力して取り組めるよう 管理職のマネジメント力の向上を図 り、学校の組織力を強化する。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員							
教職員											
4－（３） 学校におけ る働き方改 革の推進	A 16 勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組ん でいる。 【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 80%以上	①各自が勤務時間を意識し、長時間労 働を削減するために、効率的かつ計画 的な業務遂行に努める。 ②学校における働き方改革を推進す るため、業務の精選・見直しなどを行 う。 ③教職員相互に業務支援を行い、連携 しながら課題解決に努める。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員		保護者		地域住民			
教職員											
保護者											
地域住民											
5－（１） 全市的な学 校運営・教 育活動の充 実	A 17 学校は、「小中一貫教 育・地域学校園」の取組 を行っている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以 上	① <u>地域学校園の小中合同の「あいさつ 運動」を年２回実施し充実を図る。</u> ② <u>図書館や食育等、各種学校園だよ りの発行等を行い、小中学校間の連携 の様子を保護者、地域に伝える。</u> ③ <u>小中一貫各部会での活動内容を共 有し、実践につなげる。</u>	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											
5－（２） 主体性と独 自性を生か した学校経 営の推進	A 18 学校は、家庭・地域・ 企業等と連携・協力して、 教育活動や学校運営の充 実を図っている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以 上	①地域や大学、企業等と連携・協力し て行った教育活動を保護者・地域にも 積極的にホームページや学年だより 等で情報発信していく。 ②授業をねらいに合わせて、活動を充 実させられるよう相手先と計画・連 絡・調整していく。 ③生活科・社会科・総合的な学習の時 間などにおいて、地域の施設や地域 人材を活用した学習を積極的に行う とともに、地域学校協働活動推進員を とおして、学校支援ボランティアの活 用を図っていく。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											
5－（３） 地 域 と 連 携 ・ 協働 した学校づ くりの推進											
6－（１） 安全で快適 な学校施設 整備の推進	A 19 学校は、利用する人の 安全に配慮した環境づく りに努めている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 90%以 上	①毎月の安全点検を十分に行い、利用 する人の安全な確保のため、補修、修 繕を 速やかに行う。 ②多くの方が来校する学校行事等 では、危険予知を複数で行い、安全な環 境づくりに努める。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員		保護者		地域住民			
教職員											
保護者											
地域住民											
6－（２） 学校のデジ タル化推進	A 20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができています。 【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 85%以上	①情報メディア担当を中心に、教職員 がデジタルの活用方法を共有し、効 果的な場面で積極的に活用できるよ うにしていく。 ②ＩＣＴ支援員と連携し、校務改善の 方法を具体化していく。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員							
教職員											
小・中 学 校、地 域 学 校 共 通、本 校の特色 ・課題等	B 1 児童は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以 上	①日常的なあいさつや会釈など、あい さつの方法について随時指導しなが ら、よくできている児童を称賛し、意 識化を図る。 ② <u>地域学校園の「小中一貫あいさつ運 動」や地域協議会と連携した「あいさ つ運動週間」、安全見守りボランティ アの日々の声掛け等を生かしなが ら、自然にあいさつができるようにし ていく。</u>	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童											
教職員											
保護者											
地域住民											

B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 90%以上	①「明保小のよい子」の徹底により、規範意識を醸成し基本的な生活習慣を確立する。 ②「毎日めざそう5つ☆」(あいさつ・返事、名札、くつ揃え、心が温かくなる言葉かけ、話の聞き方)定着させるために、強化週間を設けたり、児童会や高学年が主体となって強化する活動を取り入れたりして、児童が意識的に取り組めるように工夫をする。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者		地域住民	
児 童										
教職員										
保護者										
地域住民										
B3 児童は、自己肯定感・自己有用感を育んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①自己肯定感や自己有用感を育む場づくりと認め励ます指導の充実を図り一人一人が自分のよさを捉えられるようにする。 ②学級や学校のために、進んでよい行いをしている児童を称賛したり、前向きな気持ちで役に立とうとしている児童を支援したりして、成長を実感できるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員					
児 童										
教職員										
B4 児童は、授業等でめあてに向かって学び、振り返りを行っている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上	①授業で、めあてを明確に提示し、本時の活動の見通しをもたせるとともに、振り返りをさせることで、学びの実感を得られるようにする。 ②めあてを意識した、話し合い活動を重視し、主体的に課題解決できるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	児 童		教職員		保護者			
児 童										
教職員										
保護者										
B5 教職員は、校内研修やOJTを通して学び合っている。 【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 85%以上	①校内研修を行い、研修の目的を明確にし、授業力の向上を目指すことにより学び合う集団として向上できるようにする。 ②若手教員育成システムを活用したり、各校務分掌でチームを組んだりして、日常的にアドバイスができるようにする。OJTによる指導力向上とチーム明保としての同僚性の強化を図る。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】	教職員							
教職員										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。